

議会だより **みなべ**

VOL.76 12月議会 令和7年2月発行

- 新メンバー12名でスタート 2～3
- 町長決意を語る・10月臨時議会 4
- 12月定例会 5～6
- 議案審議 (Q & A) 7
- 一般質問に6議員が登壇 8～13
- 町内あれこれ 14

新メンバー12名でスタート!



はらだ さとる
原田 覚 議長

より暮らしやすい豊かな町の
実現をめざします!

みなさまには日頃より町議会に対しまして、温かいご支援とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

昨年9月に町長・町議会議員選挙が行われ、山本町長と12名の議員が決定しました。私は各議員からの推挙により議長に再任することになりました。引き続き公平公正な議会運営に努めてまいります。

全国的に地方議会が果たす役割がより重要で多様になってきています。また山本町長が新しく考える町づくりを我々議会もしっかり理解し、議論を重ねて進めてまいりたいと考えております。

執行機関と議決機関は良い緊張感を保ちながらも、互いに研鑽し協力し合い、より暮らしやすい豊かな町の実現をめざしていかなければなりません。みなさまの負託にお応えできるよう議員一同努力してまいります。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

安全で安心できる町づくりのためにつくします!

このたび、引き続き副議長という重責をお引き受けすることになり、身の引き締まる思いです。みなさまのご期待にお応えすべく、また議会が地域のみなさまに信頼される場であり続けるために、精一杯務めを果たしてまいりたいと思います。

さて、今後のみなべ町の状況を考えた場合には、防災対策の充実、人口減少や少子高齢化、梅産業の縮小、インフラ設備の維持、地域コミュニティの衰退など様々な課題の発生が想定されます。そうした課題に向けて議会運営を通して、みなさまとともに地域の発展や安全で安心できる町づくりのために尽力してまいります。

至らぬ点多々あるかと存じますが、どうかご指導ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。結びに、みなさまのご健勝とご発展をお祈りし、私の挨拶とさせていただきます。



でぐち はるお
出口 晴夫 副議長

●各種組合等の議員・監査委員

- 和歌山県後期高齢者医療広域連合
原田 覚
- 紀南環境広域施設組合
原田 覚 出口 晴夫
- 公立紀南病院組合
原田 覚 出口 晴夫
- 日高広域消防事務組合
丸山 幸雄

- 田辺周辺広域市町村圏組合
原田 覚 出口 晴夫
- 田辺市周辺衛生施設組合
宮崎 繁幸 棒引 清 永井 幸喜
- 御坊日高老人福祉施設事務組合
玉井 伸幸
- 監査委員
真造 賢二

議員の紹介 (議席順)



棒引 清

みなさまの声を行政に届け、住みやすい町づくりをめざします。



川口 輝樹

防災力・減災力の強化！みなべ町の安心安全を高めるため取り組みます。



宮崎 繁幸

スポーツを通じての地域の活性化を図り、災害に強い町をめざしたい。



丸山 幸雄

できること、できないことがあります。全力をつくします。



松下 恭子

女性目線で町づくりのお役に立てればとがんばります！




崎山 晃市

未来のみなべ町のために行動力をもって精一杯がんばります。



細川 安弘

みなさまの思いに寄り添いながら、住みよい町づくりに努めます。



真造 賢二

あがらであがらの町を創りましょう「みなべの みらいを みんなで」



玉井 伸幸

鳥と虫、両目線でみなさんの切実な思いを町行政に届けます。



永井 幸喜

人の話を聞き、よく話し合い、よく考えて活動していきます。

各委員会の構成と所管

● 総務文教常任委員会

町財政・町有財産・消防防災・社会福祉・健康保険・教育関係など

委員長 玉井 伸幸
副委員長 丸山 幸雄
委員 川口 輝樹 松下 恭子
細川 安弘 出口 晴夫

● 産業建設常任委員会

ゴミや環境・農林漁業・観光・都市計画・道路橋梁河川・災害・上下水道など

委員長 宮崎 繁幸
副委員長 棒引 清
委員 崎山 晃市 真造 賢二
永井 幸喜 原田 寛

● 議会運営委員会

議会運営に関すること

委員長 玉井 伸幸
副委員長 棒引 清
委員 丸山 幸雄 宮崎 繁幸
松下 恭子 真造 賢二

● 議会広報特別委員会

議会だよりの編集、発行

委員長 細川 安弘
副委員長 棒引 清
委員 川口 輝樹 松下 恭子
崎山 晃市 玉井 伸幸
出口 晴夫

町長決意を語る！

「魅力あるみなべ町を次世代に」



山本町長

この度、町長に就任しました山本秀平です。

「魅力あるみなべ町を次世代につなぐたい」一心で3本の柱を中心に町政を担ってまいります。

一つめは「全世代が安心して安全な暮らし」です。防災や医療、子育て世代への経済的負担軽減に力を入れます。二つめは経済活性化です。梅産業を守り、町全体の経済が循環す

るような仕組み作りに着手します。

三つめは行政改革です。役場の体制を見直し、みなべ町の職員が働きがいのある職場を作ります。

これからの地方自治は、「退却戦」の意識が必要です。従来どおりのサービスが提供できないことも出てくるかもしれませんが、すべては「魅力あるみなべ町を次世代に」という信念に沿って、子どもたちに希望を与えられるまちづくりを行ってまいります。

こうした信念を持って行政運営を行ってまいりますので、みなさまのご指導とご協力をお願い申し上げます。

10月臨時会 一般会計 補正予算

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	1,775万円	衆議院議員総選挙委託金 1,255万円 高城高齢者センター空調設備修繕工事請負費 140万円 老人憩いの家「二子の里」空調設備修繕工事請負費 72万円 光ファイバー網支障移転工事請負費 150万円	94億4,139万円

補正予算のピックアップ

衆議院議員総選挙委託金

第50回衆議院議員総選挙に要した費用です。

高城高齢者センター空調修繕費

空調設備が設置されて20年以上が経過し、今回の故障で修繕不可能になったため、設備を更新します。

光ファイバー工事費

町有ケーブルは、NTTや関西電力の電柱を利用しています。この電柱の移設ともなって、町有ケーブルを移設するための費用を増額します。

12月定例会 一般会計等 **補正予算**

項目	補正額	主な内容	総額
一般会計	1億9,205万円	人件費関係 3,960万円 (今回の給与条例改正分は、3,360万円) 庁舎照明LED化改修工事設計委託料 330万円 経営継承応援資金 200万円 紀州備長炭振興館改修工事費 3,621万円 上南部中学校仮設管理棟撤去工事費 1,110万円 学校クラブ奨励金 45万円 給食用調理機器修繕費 243万円 給食賄材料費 204万円 東神野川・木の川線災害復旧工事費 510万円	96億3,344万円
後期高齢者医療特別会計	1,133万円	療養給付費負担金 1,022万円	3億6,336万円
水道事業会計	1,192万円	配水管・配水設備等修繕費 1,100万円	3億1,910万円

注目予算のピックアップ



1 紀州備長炭振興館改修工事費 3,621万円

平成3年にオープンして以来、みなべ町の誇りである紀州備長炭に関する資料や伝統技術の伝承、炭焼きへの理解を深める施設として活用されています。

今回は、築30年以上が経過し、展示室や販売エリア・エントランス・トイレ等を時代に合わせて本格的に改修するための、工事監理業務委託料・工事費が計上されました。



紀州備長炭振興館



2 経営継承応援資金 200万円

町内の農業の担い手を幅広く確保するために、国の支援策を受けていない新規就農者に対して、一人当たり50万円を交付します。経営開始年齢が60歳以下であることや、年150日かつ1,200時間以上農業従事している認定新規就農者であることが条件となります。

今回は、申請のあった4名分の応援資金が計上されました。



3 給食用調理機器修繕費 243万円

給食センター内の調理機器が経年劣化により調理作業に影響が出ないように、今回、炊飯器などの修繕費用が計上されました。

給食賄材料費 204万円

米の価格高騰により賄材料費が不足することから予算計上されました。

今後の活用に期待！

ゆめはぐ館(子育て交流施設)の管理・運営について

旧南部幼稚園の閉園にともなって、令和5年1月10日新たにオープンしたゆめはぐ館。乳幼児連れのお母さんをはじめ小学校低学年の遊び場として、町内はもとより周辺市町含め多くの方々に親しまれています。

指定管理者制度とは

これは、公の施設をノウハウのある民間事業者等に管理してもらう制度です。これにより住民ニーズに応じたサービスの向上や行政コストの縮減が期待されます。

ちなみに以下の施設もこの制度のもと運営されています。

- ・国民宿舎紀州路みなべ …… 開発公社
- ・紀州備長炭振興館 …… 森林組合
- ・鶴の湯温泉 …… 朝日楼
- ・ゆうゆう館 …… 社会福祉協議会



この施設の管理・運営を行ってきたのが梅の里スポーツクラブです。同クラブは「指定管理者」として議会の承認のもとに携わってきました。このたび、同クラブに次の3年間引き続いてお世話をいただくことが決まりました。期間は令和7年4月1日から10年3月31日までです。

これまでどおり
町民が施設を
使用できます

高城中学校の今後は？



令和7年4月より高城中学校が上南部中学校に統合されます。これにともない旧高城中学校を「旧学校施設」と位置づけ、その利用について条例に定めることとなりました。

条例では、「当分の間、町民の生涯学習の推進及び健康保持の増進、その他の活動の場としての使用に供する」としています。

これまでも、長年にわたって住民が同中学校のグラウンドや体育館でさまざまな活動を行ってき

ましたが、今回の条例化によって何ら変わることはありません。

なお、校舎については今後の扱いが定まっていないため、しばらくのあいだ開放を見合わせます。

主な議案質疑
Q&A編
抜粋

条例改正

総務課

町職員の給与に関する条例の一部改正

Q 職員の給与アップに伴うみなべ町の財政に与える影響および財源についての説明を。

A 本年度、給与で約2,090万円、期末勤勉手当で1,270万円、合計3,360万円の増額となります。財源につきましては国から普通交付税が追加されます。

教育学習課

町立小中学校設置及び管理条例の一部改正

Q 今回の条例で高城中学校が管理条例から外れる形になると思うが、修理等が発生した場合の予算措置は。

A 今後、当初予算に計上し、当分のあいだ旧学校施設として教育委員会で管理していきます。

旧学校施設の設置及び管理に関する条例について

Q 運動場と屋内運動場の使用金額が掲載されているが、教室についてはどうか。

A 運動場や屋内運動場は、今後も利用してもらえよう、使用料を設定しました。

校舎につきましては、イベントなどで使用する希望があれば、その都度対応します。



高城中学校体育館

一般会計補正予算

総務課

庁舎照明器具改修工事設計委託料 (330万円)

Q LED化は全庁をあげての計画で進めているのか。また、いつごろまで完了させる予定なのか。

A 今回、保健福祉センター及び生涯学習センターも同様の委託料を計上しています。

改正地球温暖化対策推進法にもとづいて平成25年の温室効果ガスの排出量を基準に、令和7年から令和12年度の期間を実行計画期間としています。

蛍光灯の製造が令和9年に終了するということがあ

たいと考えています。

Q 旧清川中学校は総務課の管轄であるが、高城中学校は教育委員会の管轄となっている。一本化する考えは。

A 今後、検討していきま

り、公共施設は計画的にLED化を進めます。

政策推進課

地方バス路線運行維持対策補助金 (42万円)

Q 龍神線の補助金が年間376万円。ほぼ誰も乗ることのない虎ヶ峰のバス停を廃止することで補助金が減額できないのか。

A バス停を廃止したとしても、そこを走っている以上、距離按分になってしまいますが、多少田辺市との話合いの余地もあると思っています。



龍神線虎ヶ峰のバス停

産業課

経営継承応援資金4名分 (200万円)

Q 応援資金は、親子以外の第三者が継承する場合

も対象になるか。

A 親子以外でも対象になります。その場合は「認定新規就農者」に限ります。既に経営開始されている方は対象外になります。(関連記事P5参照)

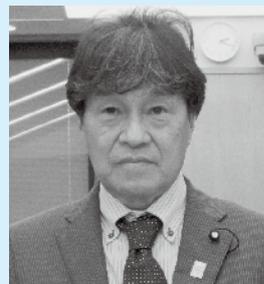
Q 4名では少ないと感じるが。

A 特に県の制約はございません。今年度、この制度ができて、広報誌やホームページで周知したところ、応募があった方の4名分としました。

Q これに関する広報や周知がまだ不十分だと思いが、その点についてはどうか。

A 8月の広報誌、ホームページでは農業支援策として掲載しています。見られていない方もいると思われるので、今後、広報については検討していきます。

お 晴 夫 議員
は る ぐ ち 出 口



行政改革



質問 「人材育成基本方針」策定と職員の副職制度の創設を

答弁 みなべ町にふさわしい育成方針、副職制度を策定したい

行政改革の基本は、人づくり・組織作り

質問

町長は所信表明で、行政改革の重要性を強調しました。その基本は、やはり「人づくり」「組織づくり」にあると思います。

まずは、みなべ町に、ふさわしい「人材育成基本方針」の策定をお願いしたい。

次の提案は、公務員の

「働き方改革」と「業務の規制緩和」が叫ばれる中で、町職員の「副職・副業制度」の創設です。職員のスキルアップにもつながるのではないかと思います。

町長

人材育成基本方針については、基本的な部分については、基本的な部分は、国の指針に沿い、みなべ町の人材育成・確保に向けて、全職員が目指すべき職員像や職場環境の整備、デジタル人材確保の

方針などを盛り込んだ、みなべ町の未来を見据え、その実現に向けて、みなべ町にふさわしい基本方針を策定したい。

副職・副業制度について

は、あくまでも労働力不足解消や地域貢献を目的にするのではなく、時代に応じて柔軟性を持って対応できるものにした

特に、副業は職員の希望によって行われるのが

大前提となるので、どれぐらい希望者がいるのか、また、どういう分野で副業を行いたいのか、一度、職員の意見も聞いて、副業規定の作成に取り組んで行きます。

女性管理職の育成に

具体的な数値目標を

再質問

現状、女性管理職が少ない状況があります。人



▲副業制度でミカン収穫に励む有田市職員（朝日新聞に掲載）

材育成の目標には、女性管理職の数値目標が必要ではないか。さらに、やりがいを感じる評価制度の導入も視野に組織に新しい風を吹き込んでいきたい。

町長

女性の視点というのは、今後のまちづくりのためにも必要です。そのためにも、女性管理職を増やすことが必要と考えています。

また、評価制度については、町のためにがんばれば評価される制度をめぐらせてまいります。



▲みなべ町の組織づくりに、新しい風を



健康長寿課

みや ぎき しげ ゆき
宮 崎 繁 幸 議員

質問 老人憩いの家「二子の里」の移転について
答弁 長期的なビジョンの中で考えていきたい



▲年々老朽化が進む老人福祉施設「二子の里」。
利用者からは、安全な場所への早期移転に期待を寄せる意見が多い。

質問

老朽化と津波浸水地域に位置する老人福祉施設「二子の里」の移転について聞いてみたい。前町長の答弁から、今任期中にもプロジェクトチームを立ち上げ移転に向けて検討していきたいとの答弁から、その後の報告がないが、どの程度進んでいるのか質問したい。

町長

今までに計6回の検討を重ねてきました。堺地区の避難場所としても利用できる温泉施設等を考え、建物や駐車場の規模、移転場所の選定等の検討事項について、協議を行ってきましたが、町管理の公共施設全体を長期的に考えていかなければならない判断となり、現

再質問

時点での「二子の里」施設の単独移転は難しいと考えます。

この施設は温泉設備があり利用者にとってリハビリにもつながり、堺地区や埴田地区の重要な避難所と考える。

町長

憩いの場としての必要性は考えています。施設維持の予算も800万円程かかっています。今の施設利用者の状況や、その経費が妥当であるか。その点も含め検討していきたい。



町長の答弁のように移転場所の選定や、用地問題を考えた時、今回の単独移転は難しいと聞いたが最終的な判断として、施設利用者や、高齢者の方々に理解できるように、町長に答弁をいただきたい。

この憩いの場である「二子の里」移転が困難という答弁はいただいたが、老朽化の憂き目にあつたこの施設は半永久的にこの場に置くのか。それとも維持が困難と判断された時、「二子の里」の取り壊しや閉鎖もあり得

しかし、プロジェクトチームとしての最終的な判断は今、現状では難しいと考えていますが、長期的なビジョンの中で高台の宅地整備等を考えた時に、費用も含め総合的な判断で考えて行きたいと思えます。

たま い のぶ ゆき
玉井伸幸 議員



防災



質問 防災対策、新町長体制下での方針は
答弁 それぞれ早期に着手します

Q まちなか沿岸部に避難タワーの新設を
A 町が率先して早期に着手したい

質問

①津波避難タワーの新設に前町長は極めて前向きだった。新町長にも同様に期待してよろしいか。
②タワーの建設には自主防災会で場所を選定することのこと。本来はどこが最も危険かという視点で、町自身がその責任のもとに場所を決めるべきでは。

町長

①津波への不安の声をほとんどに多く聞きました。避難タワーの建設に早期に着手します。
②建設場所は、町が中心となり率先して考えていく必要があると考えます。

Q 医王寺に避難場所としての整備は
A 備蓄倉庫とトイレを備えたい

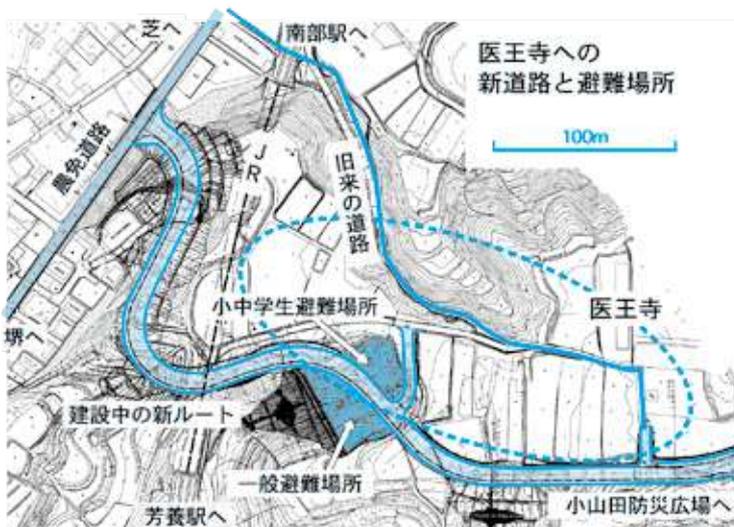
質問

医王寺での避難場所整備は、①地元はもとより小中学生の避難先として、②小山田避難場所の補完として欠かせない。ま

た、倉庫やトイレは避難先から近い場所に備えるべきだと思うが、町長の見解は。

町長

小山田では不十分な点もあり、医王寺でも備蓄倉庫とトイレの整備を進めたいと思います。これらは、広場から200mほど離れた新避難道に面したところで検討しています。



Q 住宅耐震化の促進を
A 工事費補助金を倍増したい

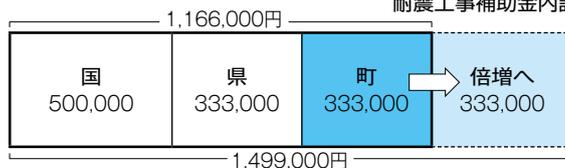
質問

能登地震では住宅倒壊による死者の多さから耐震化の重要性が浮き彫りになった。町

町長

①耐震改修の設計費補助金を30万円ほどまで増額し、加えて工事費で町が33万3千円を出しているところを2倍にするよう検討しています。
②町内では低コスト工法について一定認知されているようだが、今後県とともに業者さんを対象に講習会の開催を検討したいと思います。

耐震工事補助金内訳



内の改修が進まない現状打開のため、①耐震化工事への補助金をUP、②低コスト工法の周知・普及が必要では。町長の考えは。



ふるさと納税

しんぞうけんじ 眞造賢二 議員

質問 公約「ふるさと納税額を10倍に」実現に向けての具体施策を問う

答弁 具体策は返礼品の拡大とPR



質問

町長は選挙公約で「ふるさと納税寄付額を10倍」を掲げられています。この公約の実現を町民のみなさまも事業者さんも期待しているはずですが、

① 10倍の根拠は
② 何年で達成するのか
③ その具体策は

① 意思を明確に表明した

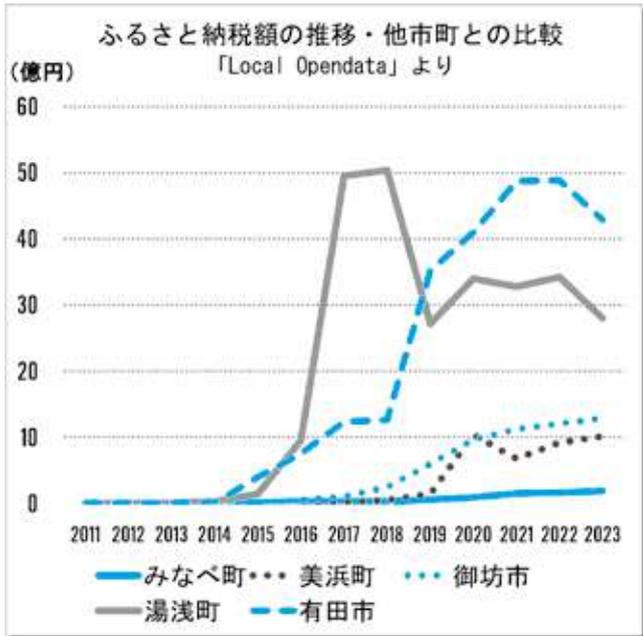
く10倍という数字を掲げました。他市町の状況、町の可能性を考えれば十分に実現できると考えています。

② 4年を目標に考えています。

③ 具体策は大きく2つありと考えています。

一つ目は返礼品の拡大です。現在、返礼品の9割が梅製品です。また、「共通返礼品」には他の自治体の特産品を採用し

「共通返礼品」には他の自治体の特産品を採用し



ていません。今後は、梅以外の返礼品の開発や、共通返礼品の発掘を専門業者へ委託することも検討していきます。

一つ目はふるさと納税のPRです。これまで町はふるさと納税の広告やPRを行ってきませんでした。しかし県内24の自治体が広告を行っている状況もあり、町もPR活動を行ってまいります。今月は、試験的にRPP広告(検索連動型広告)を行う予定です。

再質問

専門家への委託は国の「地域活性化起業者人制度(※)」を活用しては。また、事業者さんとの協議の場「ふるさと納税推進協議会」が必要では。

町長

民間の意見や力は大切です。地域活性化起業者の採用も含めて検討していきます。

協議会は他市町村の成功事例を研究し、必要性を検討していきます。

再々質問

町長の肝いり施策を寄付コースにしては。

企業版ふるさと納税の積極的な推進を。

町長

寄付コースについては見直しの必要性は感じており、検討をしていきます。企業版ふるさと納税は、正に進めたいと考えているところです。先進事例を研究し積極的に取り組んでいきます。

※地域活性化起業者人制度とは、企業の社員を地方自治体に一定期間派遣し、社員の専門的なノウハウや知見を活かしながら即戦力として業務に従事することで、地域活性化を図る取組です。国が給与等の経費として最大560万円を支援。

防災

かわぐちてるき
川 口 輝 樹 議員



質問 防災力及び減災力の強化について
答弁 反映すべきところは、スピード感を持って取り組む

現在、懸念される南海トラフ地震や近年ひんぱつする線状降水帯による豪雨災害を踏まえ、みなべ町の防災・減災対策について、町民の安心・安全な暮らしを守るために重要と思われる課題について

質問

現在、防災対策を総務課が担っていますが、災害リスクが増大する中、防災専門の組織として防災課を新設し専任の職員を配置することで専門性を高める。そういった案について、町長のお考えは。

町長

専任の職員の配置につきましては、現在の消防防災室の体制は、室長、ソフト事業で1名、ハード事業で1名、消防団担当1名で4名体制を組んでおります。この消防防災室を防災課にすることまでは、現

時点では考えてはおりませんが、防災力を強化し、スピード感を持って取り組むためにも、人員の充実には必要ではないかと考えております。

再質問

現状体制で運用していくとのことですが、退職自衛官を活用する「地域防災マネージャー」、防

災の専門官として雇いし、地方自治体職員として運用できる制度があります。人件費についても特別交付税で、一人に対して、その50%、上限は340万円、そのような制度もありますが、検討してみてもどうか。

町長

提案いただきました地域防災マネージャー、非常に心強い、取り組みになると感じています。一度、この専門官に関しましては、調べてみたいと思っております。

再々質問

今回のいくつかの提案は次年度に反映はされるのか。

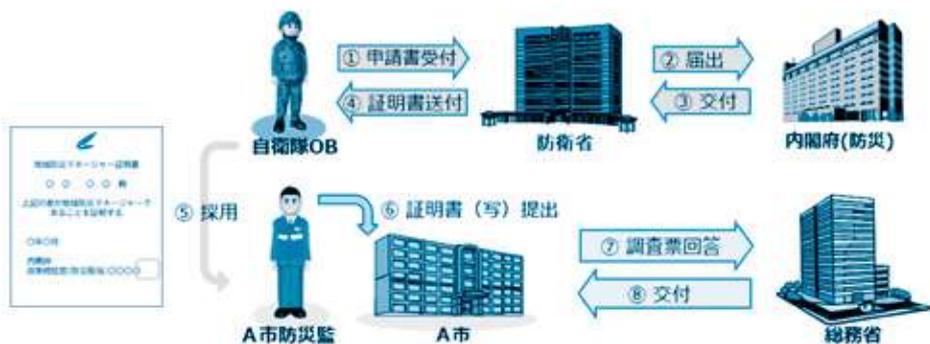
町長

必要なところに関しましては、しっかりと反映すべきところは、やはりス

ピード感を持って、取り組むべきだと思っておりますので、次年度の予算に対しまして、担当の防災室としっかりと議論をさせていただきます。ただ、約束いたしません。

特別交付税の交付

「地域防災マネージャー」の証明を受けた者を防災担当職員として雇用する場合は、当該職員の雇用・配置に係る経費(措置率0.5)が特別交付税の交付対象となります。(一地方公共団体に一人。上限年額340万円)



「地域防災マネージャー」の証明書と特別交付税の交付 (イメージ)

防衛省自衛隊ホームページより



くらし

まつ した きょう こ
松 下 恭 子 議員

質問 みなべ町居住地確保の場所と安全性は
答弁 売却可能な町有地や空き家を活用したい



質問

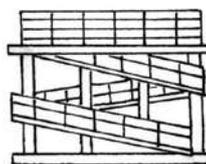
町長が所信表明で述べられた「みなべに住みたいけど住む所がない」という方にとのような場所をどんな財源を使って、どのくらいの世帯で居住地確保をしていくのか問いたいです。また、その場所の安全性についてもお聞かせください。

町長

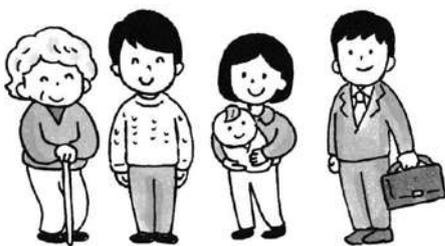
短期的に見て売却可能な町有地と空き家を有効活用したいです。長



住居



安全な場所



安心なくらし

期的には土砂災害区域にかからない場所をインフラ整備や公共施設建設等も含めて国の補助をいただきながら高台居住地をすすめていきたいですが、今は世帯数の具体的な数字は言えません。持続可能なみなべ町のために施策を考えたいです。

再質問

空き家活用の場合、密集地が多く避難道確保も必要では、また避難場所

に近い空き家の提供を。

町長

避難道整備は今も考えていませんが、安全を考

慮し避難場所に近いところから空き家の提供を進めていきます。

質問…うめ振興館再開発について

答弁…協力業者がいれば応援する

質問

巨額の維持費に見合っ
たうめ振興館の再開発が必要では。子どもが楽しめない、展示物がほとんど変わらない、食事提供がないなど、どのようにお考えですか。振興館単独でなく、みなべに来てもらう仕掛けも必要ではないでしょうか。

町長

展示については全国でも珍しい展示図録作成の資料館であるため、大きくは変えられないが可能な限り最新の展示にしています。レストランなど協



力してくれる業者がいれば行政として応援したいです。観光協会ご理解のもと、「うめルカムT.O みなべ町」キャンペーンでみなべ町に来てもらえる取り組みもしています。

町内あれこれ



●UME-1フェスタin梅の里みなべ2025 「第9回グルメ甲子園」2月9日(日)開催

UME-1 history

UME-1フェスタの起こりは、2015年10月の「南高梅名称登録50周年記念式典」にさかのぼります。式典を機会に若者の梅ばなれ対策として梅に興味を持ってもらえるようなイベントとして企画されました。

第1回は、2016年2月に開かれ、高校生が考案したオリジナルの梅料理のコンテスト「グルメ甲子園」を催し、大成功をおさめました。そのため町民から継続の声が寄せられ、その後恒例化し、今年で9回目を迎えます。

以来、「グルメ甲子園」への応募は、県内だけでなく近畿圏周辺に及び、のべ119校、306チームを数えます。

今回は、15校、36チームの応募があり、厳正な審査の結果、県内5チーム、県外5チームの出場が決定しました。

当日は、みなべ町保健福祉センター駐車場をメイン会場に、各種イベントや地域物産展が開催されます。



第7回清川開催



第9回開催チラシ

テーマ「高校生が考えるうめえ(梅)料理」

《3つの目的》

- 1) 高校生が商品の開発・仕入・製造(調理)・販売を経験することで、商品が売れた時の喜び、様々な人と関わることの楽しさを学ぶ。
- 2) みなべ町で行っている様々な地域活性化の取り組みを見てもらうことで、一人一人が地域活性化の担い手であることを認識してもらい、それぞれの地域での取り組みに活かしてもらう。
- 3) 梅干しという伝統的な食材を用いて若者向けに調理することで、和食文化の良さを再確認してもらう。

あ と が き

広報委員会も7名の新たなメンバーでスタートしました。住民の視点に立った親しみやすく、わかりやすい広報誌をめざして、委員会一同一層の努力を重ねてまいります。同時に気軽に読めるカラー版デジタル広報誌に取り組むことができればと考えています。

山本新町長は所信表明の中で「安心安全な暮らし」「経済の活性化」「行政改革」を3本柱として、新たなまちづくりを提唱しました。

町当局と議会がよい意味での緊張感を保ち、町の発展及び安心安全な住みよいまちづくりについての議論を通して、みなべ町の現状や展望を町民のみならず伝える役目が広報委員会にあると考えます。

今後、より一層充実した広報活動に取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

広報特別委員会 委員長 細川 安弘

議会の傍聴にお越しください
次回の開会予定は次の通りです

3月議会

3月5日(水)午前9時〜